

ほっぷ・ステップ・Jump!

(保っ父)

1997.06.16 Vol.30 発行:北海道の子どもと保父の会

巻頭言

児童福祉法が改正されました。法文の中に措置という言葉がなくなりました。このことの意味するものを今後の政令等運用に関わる法整備の中で注意深く見て行きたいと思っています。それは、本当に子どものおかれている状況の変化によって変えざるを得ない必然なのか、それとも時の政情に「たが」を嵌められたものなのかということです。

この国の子どもが育っていくことが、国民の総意によって見守られている。大事にされているということ、どこかで宣言するということがないならば、たとえ法文の冷たさを感じず「行政処分」であっても、その証として必要だったような気がします。保育所にとってのユーザーは、必ずしも子どもでない。このことの意味を掘り下げるべきです。乃至は、子どもが純粹にuserたるべき新機軸を編み出してはどうでしょう。

さて、少子高齢化といわれますが、これから20年後の団塊の世代が保険給付を受ける頃がピークです。この10年から20年の間に、地域においてどのように子育てを支え、子育て文化を築くかということは、見方を変えれば、この間に地方行政の中で「子育て」にお金を使うことが地方自治体にとって意味のあるだということ、どのように知らせるかということです。地域の中で父母が生き甲斐を感じ、家庭が生き活きと暮らしていくには、子どもが育つ環境として魅力があるということは、大きな要素だと思います。地方自治体にとっての生命線は、企業誘致から環境重視型人口確保へと変化していくでしょう。その時に、共働き家族が「住みやすい街」で在れば、そのような視点で整備がなされていけば、地域社会の再生がなされていくと考えています。問題は、「子育ての持っている魅力」を如何に知らせるかです。そこで…次号に続きます。

小田 進一

風に吹かれて

保父修行物語 29 第二はとポッポ保育園 船戸敬悦

私はお寺の本堂に座っていた。昔からの友人が千葉で、寺の住職になっていたの、ここ一週間程お世話になっているのだ。瞑想しているうちに、これからのことをずっと考えていた。保育の仕事始めて十年間様々なことがあったけど、やっぱりやりがいのある仕事だった。保育の仕事から離れてみて、こども達一人一人の顔が走馬灯のようによみがえる。会いたい、またいぢかきつと！子ども達と会わしてくれた運命に感謝していたのだった。そして私はこれから、どこで、何をしようとしているのか？まだわからなかった。もう保育の仕事は出来ないだろう……。

でも、子ども達と接したり、関わる仕事はなにかあるだろう！という楽観的なおもいでいたのだった。すると住職であるB氏が、「船戸くん こっちに こんね!!」「はい」と答えて私はB氏と話を始めた。

B氏とは昔、外国や日本中を冒険してまわった仲間だった!!「こんどスケッチ旅行ね!!」「そうなんだ、でも今度は仕事をやめてだけだね!」……「そうね!」とB氏が答えたあと……「初心に帰ったらいいよ!!」と一言、言ったのだった。「初心?……」その言葉がとてもすがすがしく思えてならなかった。

「初心……。」そうだった、私も造園設計の仕事から、保育の道へ入った時もそうだった。リュックサック一つで大阪に行き、I園長に出会った



ことをおもいだしていた。若かったそして情熱があった。今でもまだ負けないうらいの情熱はある!!だんだん私の胸の奥で、メラメラと燃えるおもいを感じていたのだった。「船戸くんはおもいたつたらすぐの男だからなァ!」「そうだんァ」と答えて、てれている自分を感じていた。お寺の仕事はたいへんだった、朝は五時からおきて本堂や廊下そして庭の掃除から始まるのだった。私はお寺の掃除を手伝いながら、なにか、ほのかにこれからのことが見えてくるようで、そんな感じを味わっていたのだった。そうか「初心」か～「ニヤニヤ～」しながら廊下のふき掃除をしていると、住職の奥さんが「うれしそうですね!」と私をひやかした。まっかになっている私を見てニコニコ笑う奥さんは、私には、まぶしく見えてしかたがなかったのだった。

以下Vol.30へ続く……

「パパは保母さん」 ～保父の育児日記～

発寒ひかり保育園 西村 猛

私はTVが大好きだ!!。特に幼き頃のアニメや特撮物にはいまだに胸がトキメク。TVの中のヒーローを自分に置き換えて、どんな冒険でも、どんなに怖い怪物たちでも、私は倒し続けてきた。実生活ではいつもメソメソと泣いていて、いつでも消極的だったタケちゃんも、TVの中では常に強くて負け知らずのスーパーヒーローであった。

と言うわけで、今もTVにはうるさい私は、友希が生まれてからもよくTVを見ていた。特に夕食時のゴールデンタイムは最高においしい時間。妻の手料理もそっちのけで、目はTVに釘付けであったこともしばしばだった。かみさんはというと、「ドラマは大好きだが、その他はべつに～」派。つまりゴールデンタイムには縁が無い。そんな食卓に友希も加わっての7ヶ月目。「まだTVをつけて食べてもいいだろう」と思っていた私に、「TVつけてたべると友希もパパと同じに釘付けになってるし、なにより会話がないう」とパンチ一撃。トップロブ最上段からのムーンサルトプレスを食らったようなもの。「こりゃいたい!!」

たしかに思い返すと、食事をしながらの会話はほとんど無に等しかった。そこに友希のことを出されては、もう脱毛。「これからは”バラ珍”で涙を涙を流せなくなる……。オレが乾き目病になってもいいのか!!エ～!!!」と心の中で叫びながら「そうだな、明日からTV消そう」と一大決心!!。明日なんて言わずに今日からしる(編集部)

するとどうだろう。かみさんや友めこそ「シーン」とした空間に不気ニコシしながら食べ、前より確実にしながら食べるのってたのしい」と月。「目の前にパパがいると、喜んみさんのありがたきお言葉。リップ作戦であろうが、私にとっても、きである。おいしい食卓と、たのしりーなんだろうか。「私だってゆっとは、かみさんの弁。トホホホ～



希の顔を見ながら食事ができる。美味さを感じたが、友希も目の前で二食が進んでいるではないか。「会話思えて9ヶ月。友希も1才と4ヶ月、もりもり食べるよ!!」というかサービスだろうが、家に早く帰らせ一日の中で夕食のテーブルが一番好い語らい。あ～なんて幸せなファミタリとのんびり食事したいわよ!!」

そんな友希も、「おかあさんといっしょ」等のNHKシリーズは見ている。私が帰ると、かみさんと友希が踊って歌って見せてくれる。そのかわいらしいこと。愛らしいこといったら、「友希は天才だ!」と思わずにはいられないのだ!!

やはりTVは偉大である。

(TVが家庭において父親よりも影響力を持ってしまった現代であるが、私はそんなTVくんと肩を並べるよりも、私がTVのような万華鏡になろうではないか!!なあ、友希!!)「パパ～スキ～」

P.S 保父会の皆様、毎月第3金曜日は例会を開いているのは知ってますよネ。「それなら、くるのか、こないのかぐらいは連絡入れる!!。やってらんね～ぞ～、電話ないのかー オイ!!」

ユーレイ会員の皆様へ 西村猛より

例会報告

・5月の例会は、フレッシュな若者が4人も参加し、なななんと12人にも膨れ上がり、三村氏の部屋の床が抜けるほどの盛況が

りでした。“お好み焼き”は、浅利氏が中心に、「大阪風」、「広島風」（これが絶品！）、新人のわがママを聞いての「海老抜き」までをテキパキと焼きあげてくれました。新人もこの雰囲気を楽しんでくれ、「また次回も来たい！」と力強く話してくれ、今後がますます楽しみになってきました。さて、肝心の話はというと、7月に予定していた全道交流会は、都合の悪い人が多く（日程を決めるときに集まらなかったから止むを得ない）、思い切って10月から11月に行くということにしました。準備期間もたっぷり取れるので、多くの仲間を巻き込んで、この集会を作りあげていこうと思っています。協力をよろしくおねがいします。

6月の例会

・6月は定例の第3金曜日（20日）午後7時より幌北中央保育園で行います。フレッシュな若者の強い希望で、以前好評だった“すき焼き”を行おうと思っています。今回も早く集まれる人で買い出しに行き、人数で清算しようと思いますので、来れる来れないを早めに電話で連絡してください。～20日は早番にしてもらって、5時30分くらいから買い物に行きましょう！もちろん、ビールは持参してください。

・人数が多ければ、全道交流会に企画案をみんなで検討し、実行委員を選出したいと思っています。

連絡

・現在、『ほっぷ・ステップ・JUMP!』は、月一回の発行を基本に、道内外35通程郵送し、大阪のHomePageには『ほっぷ・ステップ・JUMP!』が載っています。全世界の人がインターネットで見られるようになっているのです（すごい！）。まだ大きな反響はないのですが、あなたの意見が世界にひろがる、そんな『ほっぷ・ステップ・JUMP!』に、どんどん原稿をお寄せください。

大阪男保連HomePageは (<http://www.yo.rim.or.jp/hisao/>)

キャンプの参加者を大募集中！

7月20～21日

詳しくは西村まで。

自宅 855-5616

発寒ひかり保育園 661-1445



幸せ芝居をしていた4年前

過去にこんな家族もいました！

例会に来れるかどうかの連絡がほとんどありません。食材購入等の都合がありますので必ず連絡を入れて下さい。それと同時に会費の納入状況が非常に悪くなっています。このままでは活動ができなくなるおそれがあるので、未納の方は至急振り込みか、直接お支払いください(ご存じかとは思いますが、前年度から年会費は1,000円となっております)。なお、道内で『ほっぷ』を郵送されている方は現在のところ会員の扱いですが、諸事情により脱退したいという方はお知らせください。又事情で出席は出来ないが、『ほっぷ』は送ってほしいし、例会の連絡ももらいたいという、会への参加意思があるのであれば、その旨を知らせてくれればよいのです。参加意思のない方に郵送するのは財政的にも厳しく、気持ちのうえでも虚しく思うこの頃なのです。同封の葉書にて自分の意思を伝えて下さい。よろしくおねがいします。

事務局より

今年度から、このHopStepJumpの発行は月一回をめでに何とか頑張ってみようかと思っています。

(怠け者の事務局にはかなりの重荷?)

例会が近くなってからの投稿が目立ちます。そうすると、良くないのです。なにがって? 私は夜お酒を少々頂くのが唯一の楽しみなのです。従ってNewsLetteを作る作業が滞るのです。NewsLetteが届いたらすぐに次ぎの原稿を書きましょう。もっと贅沢を言えば、原稿はMS-DOS 1.44MByteFORMATのTXT形式で、写真等はPhotoshopで・・・なんて言ってるから原稿が来ないのか?

欲は申しません。手書きでも結構。2行でもOK。「あ~やだ」でもいいから。

もしFLOPYで送っていただけのでしたら、勿論それには一切の手を加えずにお返しいたします。

着払いでも良いですので、原稿を下さい。

そうそう、思い出しました。過去に私に原稿を強引に依頼した「ア・ナ・タ」その節はお世話しました。

今度あんたの番だよ。あの時あんたはオレに言ったよね「何でもいから書いて！」。

そうして私は書きました。あの『フェラーリの風に吹かれて』。数回の連載でした。

その後フェラーリは弱くなって連載も衰退の一途・・・

最近また少し名門復活の兆しありなので『フェラーリの・・・』も復活するか?

ですから、あんたにも何か書いて頂かないと私としても毎夜毎夜気にかかるのです。頼んだよ瀬尾くん。

てな案配で、皆さんも普段思った事や怒った事、楽しかった事、気持ち良かった事、落ち込んだ事、風俗の事、趣味の事、イラスト、ナンでも有りのHSJにぶちまけて頂けたら、私はこうしてKeyBoardに向かって発送寸前に“悩むことなく順調にNewsLetteが出来上がって行くのに”。と思う今日この頃です。他人事ではないのですぞ皆さん。

気張って原稿を書こうとは思わないで、気楽に自分の好きなことや彼女・家族・オネエちゃん・ペット等身の回りにある題材を気軽に話して欲しいです。勿論匿名でも可。難しい題材でないとなんなに変に見られるとか「エ~そんなふうにしてたの」とかは誰も思いません。ナンでもないことを難しそうに話すのはオダクンだけです。(小田さんごめんネ)今回の巻頭言も難しそうでしょ?

こう書きながらまたまた思い出しました。

桑原くん、『保父男』の4コマ漫画はどうなったんだい?あれは連載の筈だったけど!

そう考えると、船戸クンあんたはエライ!未だに連載中だもんな。ところでいつ北海道へ来るんだい?

よし、紙面は埋まった! 徒然なる事務局日記 以上

事務局

001 札幌市北区北20条西3丁目19番地 幌北中央保育園内
011-716-1841 Fax 011-716-1852
北海道の子どもと保父の会

Mail Address

Nifty VYG02402